

ThinkVantage 指紋ソフトウェア

First Edition (August 2005)

© Copyright Lenovo 2005.

Portions © Copyright International Business Machines Corporation 2005.

All rights reserved.

U.S. GOVERNMENT USERS – RESTRICTED RIGHTS: Our products and/or services are provided with RESTRICTED RIGHTS. Use, duplication or disclosure by the Government is subject to the GSA ADP Schedule contract with Lenovo Group Limited, if any, or the standard terms of this commercial license, or if the agency is unable to accept this Program under these terms, then we provide this Program under the provisions set forth in Commercial Computer Software–Restricted Rights at FAR 52.227-19, when applicable, or under Rights in Data-General, FAR 52.227.14 (Alternate III).

目次

| | |
|---|----------|
| 第 1 章 ThinkVantage 指紋ソフトウェアのインストール | 1 |
| ソフトウェアのインストール..... | 1 |
| ソフトウェアのアンインストール..... | 2 |
| 第 2 章 はじめましょう | 3 |
| 初めてのログオン..... | 3 |
| 新規パスポートの作成..... | 3 |
| コントロールセンターの使用..... | 4 |
| 第 3 章 ThinkVantage 指紋ソフトウェアの使用 | 5 |
| ログオン画面..... | 5 |

| | |
|-----------------------|----|
| 初期画面..... | 5 |
| 指紋画面..... | 6 |
| 新規パスポートの作成と指紋の登録..... | 6 |
| パスポートと指紋の編集..... | 7 |
| パスポートと指紋の削除..... | 8 |
| パワーオンセキュリティ..... | 8 |
| 設定画面..... | 11 |
| ログオン設定..... | 11 |
| 保護されたスクリーンセーバー..... | 12 |
| パスポートタイプ..... | 13 |
| セキュリティモード..... | 14 |
| PRO サーバ..... | 15 |
| アドバンスセキュリティ画面..... | 15 |

第 1 章 ThinkVantage 指紋ソフトウェアのインストール

ThinkVantage 指紋ソフトウェアアプリケーションへようこそ。このソフトウェアアプリケーションは優れたセキュリティと利便性を提供するバイOMETリック指紋技術です。このアプリケーションは Windows 2000 および Windows XP コンピュータ向けにデザインされており、Windows XP クイックユーザ切り替え機能に対する特別サポートも備えています。

メモ： ThinkVantage 指紋ソフトウェアアプリケーションをインストールまたはアンインストールするには、管理者権限が必要です。

ソフトウェアのインストール

管理者は、Windows 2000、Windows、Windows XP Home Edition、または Windows XP Professional Edition のいずれかのコンピュータに ThinkVantage 指紋ソフトウェアアプリケーションをインストールすることができます。外部指紋センサー接続のため、USB ポートが必要な場合があります。

ThinkVantage 指紋ソフトウェアアプリケーションをインストールするには、下記の要領で行ってください。

1. インストール CD を CD-ROM ドライブにセットします。
ThinkVantage 指紋ソフトウェアの画面が立ち上がります。
2. ソフトウェアインストールのアイコンをクリックします。画面が表示されない場合は、手動で Setup.exe を実行します。
初期画面が表示されます。
3. **次へ** をクリックして続けます。
ライセンス規約が表示されます。
4. ライセンス規約をよくお読みください。
5. ラジオボタンを選択してライセンス規約に同意してください。
メモ： この製品をインストールするには、ライセンス規約に同意する必要があります。ライセンス規約に同意できない場合は、**キャンセル** をクリックしてアプリケーションを終了してください。
ユーザ情報画面が表示されます。
6. ユーザ情報を入力し、**次へ** をクリックして進みます。
7. 確認するか、または直接インストールを選択してください。
8. セキュリティモードを選択します。

ThinkVantage 指紋ソフトウェアアプリケーションには次のセキュリティモードが用意されています。

- **簡易モード：** 簡易モードでは、すべてのユーザに同じ権限が与えられます。
- **安全モード：** 安全モードでは、管理者のみが特定の操作を行うことができます。パスポート作成、他のユーザのパスポート削除、セキュリティモードの安全モードから簡易モードへの変更などは、管理者のみ操作することができます。

セキュリティモードに関する詳細は“セキュリティモード” ページ 14 をご覧ください。コンピュータを再起動するよう指示されます。

9. ここでコンピュータを再起動します。

インストールはこれで完了です。コンピュータを再起動すると、ログオン画面が表示されます。

メモ: インストール中に必要なデバイスドライバはすべてインストールされます。外部指紋センサーを使用する場合は、インストールプロセスを完了し、コンピュータを再起動した後に指紋ハードウェアを接続してください。

ソフトウェアのアンインストール

ThinkVantage 指紋ソフトウェアアプリケーションをアンインストールするには、下記の要領で行ってください。

1. **スタート > 設定 > コントロールパネル** をクリックし、**プログラムの追加と削除** アイコンをダブルクリックします。
2. ThinkVantage 指紋ソフトウェアを選択し、**変更 / 削除** ボタンをクリックします。
3. **削除** ボタンをクリックします。

コンピュータに保存された ThinkVantage 指紋ソフトウェアパスポートの処理について尋ねられます。2つの処理方法があります。

- コンピュータにすべてのデータを残すことができます。この場合、後から ThinkVantage 指紋ソフトウェアアプリケーションを再インストールし、登録された指紋を引き続き使用することができます。
- コンピュータから ThinkVantage 指紋ソフトウェアデータを削除することができます。この場合、登録された指紋はすべて永久的に削除されます。

ソフトウェアのパワーオンセキュリティ機能を有効にしている場合、この機能を無効にするか、そのまま残すか尋ねられます。パワーオン指紋認証を有効にしておくと、コンピュータへのアクセスは BIOS レベルで指紋により保護されます。ただし、コンピュータに保存された指紋を編集するには ThinkVantage 指紋ソフトウェアアプリケーションを再インストールする必要があります。

第 2 章 はじめましょう

この章では ThinkVantage 指紋ソフトウェアを使い始めるための説明をします。

初めてのログオン

ThinkVantage 指紋ソフトウェアアプリケーションをインストールした後、コンピュータにはログオン画面が表示され、指をスキャンするか、または標準 Windows ログオン手順を使用するかを尋ねます。ここで指紋登録を行うか、または後から行うこともできます。

新規パスポートの作成

メモ： Windows NT ユーザはそれぞれ唯一の ThinkVantage 指紋ソフトウェアパスポートが必要となります。

新規パスポートを作成するには、以下の要領で行います。

1. 指紋センサー上で指をスキャンしてください。
インストール後初めてのログオンの場合、ThinkVantage 指紋ソフトウェアにはまだパスポートが登録されていないことを示す警告メッセージが表示されます。
2. **登録**をクリックして続けます。
ユーザ登録画面が表示されます。
3. ユーザ名、パスワード、ドメイン (あれば) を入力し、**次へ**をクリックします。
指紋選択画面が表示されます。
4. 登録する指を選択してください。適切な指のイメージをクリックするか、またはインターフェースから選択することができます。
5. **登録**をクリックします。
ユーザ登録画面が表示されます。選択した指のサンプルを 3 つ作成します。これらは 1 つの指紋に統合され、パスポートとして登録されます。アニメーションディスプレイが登録手順を案内します。
6. 指紋センサーで 3 つの有効サンプルが登録されるまで指をスキャンしてください。
指紋の登録が完了すると、ユーザ登録画面が再度表示されます。
ご利用の指紋センサーがパワーオンセキュリティ機能に対応している場合、パワーオンセキュリティメモリに新しい指紋を追加するかどうか尋ねられます。パワーオンセキュリティ機能に関する詳細は “パワーオンセキュリティ” ページ 8 をご覧ください。
7. 以下のいずれかの操作を行ってください。
 - 登録する別の指を選択します。
 - **次へ**をクリックします。

メモ： 最高 10 本の指を登録することができます。ただし、1 つのパスポートに同じ指を登録することはできません。

コントロールセンターの使用

最初のログオンの後、ThinkVantage 指紋ソフトウェアのメイン画面、またはコントロールセンターが表示されます。この画面では、すべての ThinkVantage 指紋ソフトウェアコンポーネントのための一般的なユーザインターフェースが提供されています。基本情報を取得したり、ThinkVantage 指紋ソフトウェアの機能へのアクセスに使われます。利用可能なすべての機能一覧については、第 3 章，“ThinkVantage 指紋ソフトウェアの使用,” ページ 5 をご覧ください。

ThinkVantage 指紋ソフトウェアアプリケーションを使用するには、下記の要領で行ってください。

1. **スタート > すべてのプログラム > ThinkVantage > 指紋ソフトウェア > コントロールセンター**を選択します。

コントロールセンターの初期画面が表示されます。画面左側にはトピックが表示されます。トピックをクリックし、このトピックで利用可能な操作の一覧を表示します。トピック画面には指紋画面、設定画面、アドバンスセキュリティ画面が含まれます。

2. トピックをクリックし、このトピックで利用可能な操作の一覧画面を表示します。

第 3 章 ThinkVantage 指紋ソフトウェアの使用

この章では、ThinkVantage 指紋ソフトウェアの操作方法と機能について説明します。

ThinkVantage 指紋ソフトウェアアプリケーションを起動するには、**スタート > すべてのプログラム > ThinkVantage > 指紋ソフトウェア > コントロールセンター**をクリックします。初めてアプリケーションを起動すると、初期画面が表示されます。

メイン画面左側にはトピックが表示されます。トピックをクリックし、このトピックで利用可能な操作の一覧を表示します。トピック画面には指紋画面、設定画面、アドバンスセキュリティ画面が含まれます。

メモ：

1. コンピュータを保護するためには、Windows パスポートを確立する必要があります。Windows パスポートが確立されていない場合、ThinkVantage 指紋ソフトウェアアプリケーションはコンピュータへのアクセスの安全性を確保することができません。
2. ThinkVantage 指紋ソフトウェアは Novell ネットワークログオンとも連動します。Novell 3.x、4.x、5.x ネットワーク、および Novell Client for Windows、Novell 向け Microsoft ネイティブサポートに対応しています。ThinkVantage 指紋ソフトウェアで自動的に Novell ネットワークにログオンするには、Windows ユーザ名とパスワードが Novell ユーザ名とパスワードと一致していなければなりません。

ログオン画面

ThinkVantage 指紋ソフトウェアはクライアントセキュリティソリューション、指紋センサーハードウェア、そしてパスポートを使ってユーザ認証を行います。各パスポート ファイルにはユーザを認証するためのバイOMETリック指紋データが含まれます。

コンピュータにログオンする際、ThinkVantage 指紋ソフトウェアログオン画面が表示され、指紋センサーで指紋をスキャンするか、または **Ctrl + Alt + Del** を押してパスワードでログオンするかを尋ねます。

ユーザはコンピュータにログオンする際や、パスワード保護された Windows スクリーン画面の後、指紋を使って認証を行う必要があります。

初期画面

初めてアプリケーションを起動すると、初期画面が表示されます。次

からアプリケーションを起動する際に直接指紋画面を開く場合は、次からはこのウィンドウを表示しないというチェックボックスをチェックしてください。

指紋画面

指紋画面では、パスポートの登録、編集、削除、およびパワーオンセキュリティ機能を有効にすることができます。操作可能な機能は、ThinkVantage 指紋ソフトウェアのバージョン、認証ハードウェア、既存のパスポート、現在のユーザのアクセス権限などにより異なります。

ThinkVantage 指紋ソフトウェアでは、各ユーザの ID はパスポートにより表されます。パスポートにはユーザを認証するためのバイOMETリック指紋データが含まれています。1 人の NT ユーザは、1 つのパスポートのみを所有できます。

簡易モードでは、すべてのユーザがローカルパスポートを作成することができますが、安全モードでは管理者のみが作成することができます。管理者はサーバパスポートを登録する必要がありますが、管理者は他のユーザにパスポートの作成を許可することができます。

新規パスポートの作成と指紋の登録

メモ：現在のユーザのパスポートが存在する場合のみ、この機能を利用することができます。

新規パスポート作成と指紋登録は以下の要領で行います。

1. **スタート > すべてのプログラム > ThinkVantage > 指紋ソフトウェア > コントロールセンター**をクリックします。
2. 必要に応じて**指紋**をクリックします。
3. **新規パスポートの作成と指紋の登録**をクリックします。
ユーザ登録画面が表示されます。
4. Windows パスポートを入力し、**次へ**をクリックします。
5. 適切なイメージをクリックして登録する指を選択するか、またはドロップダウンメニューから選択して**登録**をクリックします。
6. 選択した指を指紋センサー上でスキャンします。1 つの指紋を登録するには、イメージスキャンを 3 回成功させなければなりません。最高 10 本の指を登録することができます。ただし、同じ指紋を別のパスポートに登録することはできません。
7. このプロセスを繰り返し、必要に応じてその他の指を登録してください。
8. 指紋の登録が完了したら、**次へ**をクリックします。

ご利用の認証デバイスがパワーオンセキュリティ機能に対応している場合、パワーオンセキュリティ画面が表示されます。パワーオンセキュリティ機能に関する詳細は“パワーオンセキュリティ”ページ 8 をご覧ください。

完了したら、**完了**をクリックします。

パスポートと指紋の編集

メモ：現在のユーザのパスポートが存在する場合のみ、この機能を利用することができます。

パスポートと指紋の編集は以下の要領で行います。

1. **スタート > すべてのプログラム > ThinkVantage > 指紋ソフトウェア > コントロールセンター**をクリックします。
2. 必要に応じて**指紋**をクリックします。
3. **パスポートと指紋の編集**をクリックします。
ユーザパスポートを開く画面が表示されます。
4. 指紋センサー上で指をスキャンしてください。
ユーザ登録画面が表示されます。
5. 必要に応じて Windows パスポートを入力し、**次へ**をクリックします。
6. 以下のいずれかの操作を行ってください。
 - 新しい指紋を登録するには、以下の要領で行います。
 - a. 適切なイメージをクリックして登録する指を選択するか、またはドロップダウンメニューから選択して**登録**をクリックします。
 - b. 選択した指を指紋センサー上でスキャンします。1つの指紋を登録するには、イメージスキャンを3回成功させなければなりません。最高10本の指を登録することができます。ただし、同じ指紋を別のパスポートに登録することはできません。
 - c. このプロセスを繰り返し、必要に応じてその他の指を登録してください。
 - 指紋を削除するには、以下の要領で行います。
 - a. 適切なイメージをクリックして登録する指を選択するか、またはドロップダウンメニューから選択して**削除**をクリックし

て削除する指を選択します。

- b. 削除を確定する際は、**はい**をクリックします。
7. 指紋の登録または削除が完了したら、**次へ**をクリックします。

ご利用の認証デバイスがパワーオンセキュリティ機能に対応している場合、パワーオンセキュリティ画面が表示されます。パワーオンセキュリティ機能に関する詳細は“パワーオンセキュリティ”をご覧ください。選択を確認し、**完了**をクリックします。

パスポートと指紋の削除

メモ：管理者はすべてのパスポートを削除することができます。制限付ユーザは自分のパスポートのみ削除することができます。

既存のパスポートを削除する：

1. **スタート > すべてのプログラム > ThinkVantage > 指紋ソフトウェア > コントロールセンター**をクリックします。
2. 必要に応じて**指紋**をクリックします。
3. **パスポートと指紋の削除**をクリックします。

ユーザパスポート削除画面が表示されます。

4. 既存のパスポートリストが表示されます。削除するパスポートを選択し、**完了**をクリックします。

パワーオンセキュリティ機能に指紋を登録してある場合、このパスポートに対応する指紋を削除するオプションが与えられます。パワーオンセキュリティ機能を使用しており、登録された指紋を削除しない場合、パスワードを使ってログオンするには新しいパスポートを登録するか、または **Ctrl + Alt + Del** を押してログオンする必要があります。

パワーオンセキュリティ

パワーオンセキュリティ機能は、コンピュータの BIOS を使ってコンピュータへの不当なアクセスを防止します。パワーオンセキュリティ機能が有効なコンピュータは、指紋認証に成功しなければオペレーティング・システムを立ち上げません。

コンピュータ起動時に、ユーザは 10 秒以内に指紋センサーで指をスキャンします。スキャンされた指が現在のユーザの登録済みパスポートと一致する場合のみ、コンピュータを起動することができます。認証に通過すると、正常な起動が実行されます。指紋認証に 4 回連続で失敗すると、アクセスはブロックされますので、コンピュータを再起動する必要があります。

指紋ソフトウェアでのパワーオンセキュリティの有効化

パワーオンセキュリティ機能は、パワーオンセキュリティメモリに指紋が登録された後にのみ、指紋ソフトウェアで有効にすることができます。パスポート作成時にパワーオンセキュリティサポートが検出されると、パワーオンセキュリティ画面が自動的に表示されます。パワーオンセキュリティ機能は既定では無効となっています。

ThinkVantage 指紋ソフトウェアインターフェースでパワーオンセキュリティ機能を有効化するには、以下の要領で行います。

1. **スタート > すべてのプログラム > ThinkVantage > 指紋ソフトウェア > コントロールセンター**をクリックします。
2. 必要に応じて**指紋**をクリックします。
3. **パワーオンセキュリティ**をクリックします。
パワーオンセキュリティ画面が表示されます。
4. **パワーオンパスワードを指紋に置き換える**というチェックボックスを選択し、**完了**をクリックします。
5. **追加**をクリックし、表示された項目から指紋を選択します。

パワーオンセキュリティメモリに指紋が追加されると、この指紋がパワーオンセキュリティウィンドウの認証済み指紋一覧に表示されます。

6. 必要に応じて次の指紋を追加します。
7. **完了**をクリックします。
8. まだ設定されていない場合は、BIOS セットアップユーティリティを使用してパワーオンパスワードを設定します。

パワーオンセキュリティ画面のパワーオンセキュリティウィンドウの認証指紋には、パワーオンセキュリティデバイスメモリに存在する指紋の一覧が表示されます。緑色の指紋アイコンは、現在のユーザの指紋を表します。灰色の指紋アイコンは、他のユーザの指紋を表します。

メモ：パスポートの変更（指紋の追加や削除）でパワーオンセキュリティ用の指紋が自動的に追加または削除されることはありません。

BIOS セットアップユーティリティでのパワーオンパスワード有効化

指紋ソフトウェアのパワーオンセキュリティ機能を有効化するには、まず BIOS セットアップユーティリティを使ってパワーオンパスワードを有効にする必要があります。ThinkVantage 指紋ソフトウェアパワーオンセキュリティ機能を正しく作動させるためには、この BIOS 設定が正しく行われている必要があります。

BIOS パスワードを有効にするには、以下の一般手順を行ってください。

1. コンピュータを再起動します。
2. スタートアップ時にメッセージが表示されたら、F1 キーを押すか、または BIOS 個別のスタートアップキーを押して BIOS セットアップユーティリティに入ります。
3. **セキュリティ**を選択し、パワーオンパスワードが設定されていることを確かめます。
4. 必要に応じて、パワーオンまたはハードドライブパスワード機能を有効にします。
5. F10 を押して変更を保存し、BIOS セットアップユーティリティを終了します。
6. Enter キーを押して確定します。

メモ:

1. パワーオンパスワードはこの後のログオン時に必要です。これで、指紋ソフトウェアは指紋と BIOS パワーオンセキュリティの関連性を確立することができます。
2. 実際のステップは、ご利用のコンピュータにインストールされている BIOS ユーティリティにより異なる場合があります。

パワーオンセキュリティで認証されたユーザの自動ログオン有効化

パワーオンセキュリティ機能では、ユーザが Windows にログオンできるように設定することもできます。この機能が有効に設定されていると、パワーオンセキュリティ指紋が既存のパスポートの指紋と一致した場合、このユーザは自動的に Windows にログオンすることができます。この機能により、ユーザはコンピュータ起動時にパワーオン機能と Windows ログオンの 2 回のログインを 1 回の操作で済ませることができるようになります。

パワーオンセキュリティで自動 Windows ログオンを完了するには、以下の要領で行ってください。

1. **スタート > すべてのプログラム > ThinkVantage > 指紋ソフトウェア > コントロールセンター**をクリックします。
2. **設定**をクリックします。
3. **ログオン設定**をクリックします。
基本設定画面が表示されます。
4. **BIOS 起動セキュリティで認証済みのユーザーを自動ログオンの**チェックボックスを選択し、**完了**をクリックします。

設定画面

設定画面では、基本ログオン設定を行うことができます。保護されたスクリーンセーバーの有効化、利用可能なパスポートタイプの設定、セキュリティモードの切り替え、サーバパスポートへのサポート追加などが可能です。

ログオン設定

ログオン設定画面では、以下のタスクを実行することができます。

- Windows ログオンを指紋保護されたログオンにする
- パワーオンセキュリティで認証済みのユーザの自動ログオン (オプション)
- クイックユーザ切り替えサポートの有効化 (オプション)
- Novell サポートの有効化 (オプション)

メモ: 管理者のみがログオン設定を変更することができます。変更を適用するにはコンピュータの再起動が必要なものもあります。

ログオン設定を変更するには、以下の要領で行ってください。

1. **スタート > すべてのプログラム > ThinkVantage > 指紋ソフトウェア > コントロールセンター**をクリックします。
2. 必要に応じて**設定**をクリックします。
3. **ログオン設定**をクリックします。

基本設定画面が表示されます。

4. 適切なチェックボックスを選択またはクリアしてください。

- **Windows ログオンを指紋保護されたログオンにする**

このチェックボックスは、指紋認証を使用した Windows へのログオンを可能にします。このチェックボックスにチェックが入っていると、指紋認証を使ってコンピュータにログオンすることができます。このチェックボックスがチェックされていない場合、Windows パスワードを使ってコンピュータにログオンします。

- **パワーオンセキュリティで認証済みのユーザを自動ログオン**

このチェックボックスは、パワーオン認証と Windows 認証を合併します。パワーオンセキュリティテストで使われた指紋が既存パスポートの指紋と一致する場合、このユーザーは自動的に Windows にログオンします。

このチェックボックスにチェックが入っていると、ThinkVantage 指紋ソフトウェアはパワーオン認証と Windows 認証の両方に指紋証明を提供します。このチェックボックスが

チェックされておらず、パワーオン認証が有効になっている場合、Windows にログオンするために 2 回指紋をスキャンする必要があります。

- **クイックユーザ切り替え**

このチェックボックスは、Windows XP のクイックユーザ機能を有効または無効にします (コンピュータがこの機能に対応している場合のみ)。クイックユーザ切り替え機能に対応している場合で、これが有効になっていない場合、システムでこの機能を有効化しようメッセージが表示されます。クライアントセキュリティソリューションがインストールされているコンピュータでは、クイックユーザ切り替え機能はサポートされていません。

- **Novell サポート**

このチェックボックスは、利用可能な場合のみ Novell ネットワークサポートを有効または無効にします。

Novell ネットワークにログオンした際の希望の動作を選択します。

- 有効 – ThinkVantage 指紋ソフトウェアは自動的に分かっている証明を入力します。Novell ログオンに失敗した場合、Novell クライアント画面が表示されます。
- ログオン時に尋ねる - ThinkVantage 指紋ソフトウェアは自動的に Novell クライアント画面を表示します。
- 無効 – Novell ログオンを実行しません。

5. **完了**をクリックします。

この操作を行った後は、コンピュータを再起動する必要があります。

保護されたスクリーンセーバー

保護されたスクリーンセーバーは、パスワード保護 Windows スクリーンセーバを有効または無効にします。スクリーンセーバーがコンピュータへのアクセスをロックした後、指紋を使って再度 Windows のデスクトップにアクセスできるようになります。

パスワード保護されたスクリーンセーバーを有効にするには、下記の要領で行います。

1. **スタート > すべてのプログラム > ThinkVantage > 指紋ソフトウェア > コントロールセンター**をクリックします。
2. 必要に応じて**設定**をクリックします。

3. **保護されたスクリーンセーバー**をクリックします。
スクリーンセーバー画面が表示されます。
4. **画像のプロパティを開く**をクリックします。
5. 必要に応じてスクリーンセーバータブを選択します。
6. スクリーンセーバーのドロップダウンメニューからスクリーンセーバーを選択し、**パスワードによる保護**のチェックボックスをチェックします。
7. **OK**をクリックします。
8. **完了**をクリックします。

パスポートタイプ

ThinkVantage 指紋ソフトウェアには2つのパスポートタイプがあります。利用可能なパスポートタイプはご利用のシステムとインストールされているハードウェアにより異なります。ローカルパスポートは、ローカルコンピュータに保存されているバイオメトリック指紋ファイルを指します。サーバパスポート（利用可能な場合）は接続されたバイオメトリックサーバに保存されます。サーバパスポートはPROサーバソフトウェアをUPEKからお買い上げの場合のみご利用いただけます。バイオメトリックサーバに関する詳細は、<http://www.thinkpad.com/fingerprint> ウェブサイトをご覧ください。

パスポートタイプを設定するには、以下の要領で行います。

1. **スタート > すべてのプログラム > ThinkVantage > 指紋ソフトウェア > コントロールセンター**をクリックします。
2. 必要に応じて**設定**をクリックします。
3. **パスポートタイプ**をクリックします。
既定タイプの画面が表示されます。
4. 許可したいパスポートを選択してください。利用可能なオプション：
 - **サーバパスポートタイプの許可**：サーバパスポートタイプの許可というチェックボックスを選択すると、利用可能なサーバパスポートタイプが表示されます。
 - **ローカルパスポートタイプの許可**：ローカルパスポートタイプの許可というチェックボックスを選択すると、利用可能なローカルパスポートタイプが表示されます。
5. 既定のパスポートドロップダウンメニューから、既定のパスポートタイプを選択してください。

6. 完了をクリックします。

メモ：変更を適用するには、現在パスポートを使用しているすべてのアプリケーションを終了し、再起動する必要がある可能性があります。

セキュリティモード

セキュリティモード画面では、指紋セキュリティ管理コントロールにアクセスできるユーザを管理することができます。簡易モードと安全モードの2種類のセキュリティモードがあります。簡易モードでは、すべてのユーザが同じ権限を与えられています。たとえば、すべてのユーザが独自のパスポートを作成したり、既定のパスポートタイプを選択することができます。

セキュリティ機能では、ThinkVantage 指紋ソフトウェアの管理者権限を利用できます。

ただし、セキュリティモードを切り替えると、状況が変化します。管理者のみが管理機能へアクセス可能となります。標準ユーザは管理者からパスポートを取得しなければなりません。彼らは自分のパスポートのみを編集可能となります。管理者のみが安全モードから簡易モードへの変更を行うことができます。

セキュリティモードを開始するには、以下の要領で行ってください。

1. **スタート > すべてのプログラム > ThinkVantage > 指紋ソフトウェア > コントロールセンター**をクリックします。

2. 必要に応じて**設定**をクリックします。

3. **セキュリティモード**をクリックします。

セキュリティモード画面が表示されます。

4. 希望のセキュリティモードを選択してください。以下のオプションがあります。

- **安全モード** 安全モードは ThinkVantage 指紋ソフトウェア管理で管理的役割を果たします。重要機能の操作を管理者のみに開放することで、コンピュータの安全性を高めることができます。
- **簡易モード** 安全性よりも使いやすさと便利性に焦点を当てた簡易モードは、家庭での使用に適しています。

メモ：管理者のみが安全モードから簡易モードへの変更を行うことができます。

5. **完了**をクリックします。

PRO サーバ

メモ：この機能は、UPEK から PRO サーバソフトウェアをお買い上げの場合のみご利用になれます。バイオメトリックサーバに関する詳細は、<http://www.thinkpad.com/fingerprint> ウェブサイトをご覧ください。

サーバパスポートを使用したい場合は、PRO サーバが接続されるよう設定する必要があります。既定では、現在のドメインのドメインコントローラが使用されます。別のコンピュータに保存された PRO サーバに接続したい場合は、この画面でサーバを選択します。

新しいバイオメトリックサーバを追加するには、以下の要領で行います。

1. **スタート > すべてのプログラム > ThinkVantage > 指紋ソフトウェア > コントロールセンター**をクリックします。

2. 必要に応じて**設定**をクリックします。

3. **PRO サーバ**をクリックします。

サーバ画面が表示されます。

4. **次へ**をクリックします。

5. **追加**をクリックし、ドロップダウンメニューからドメインを選択します。

PRO サーバがこのドメインのドメインコントローラにインストールされていない場合、カスタムサーバのチェックボックスにチェックを入れてください。

6. サーバ名を入力し、これを一覧に追加します。

7. **テストボタン**をクリックし、接続をテストします。

8. 必要に応じて、**削除**または**編集**ボタンを使ってサーバリストを変更します。

9. 終わったら**完了**をクリックします。

アドバンスセキュリティ画面

アドバンスセキュリティ画面では、内蔵のセキュリティチップを使用してログオン認証を向上させることができます。内蔵セキュリティチップは、クライアントセキュリティソリューションと連動し、専用のハードウェアを使用して認証機密の暗号化を図ります。このため、すべてのパスワード、暗号化キー、電子証明はより安全になります。アドバンスセキュリティ画面は、セキュリティチップが内蔵されているコンピュータでのみ表示されます。

内蔵セキュリティチップを有効にするには、**内蔵セキュリティのインストール**をクリックします。

メモ：クライアントセキュリティソリューションがインストールされている場合、Windows XP クイックユーザ切り替え機能は使用できません。